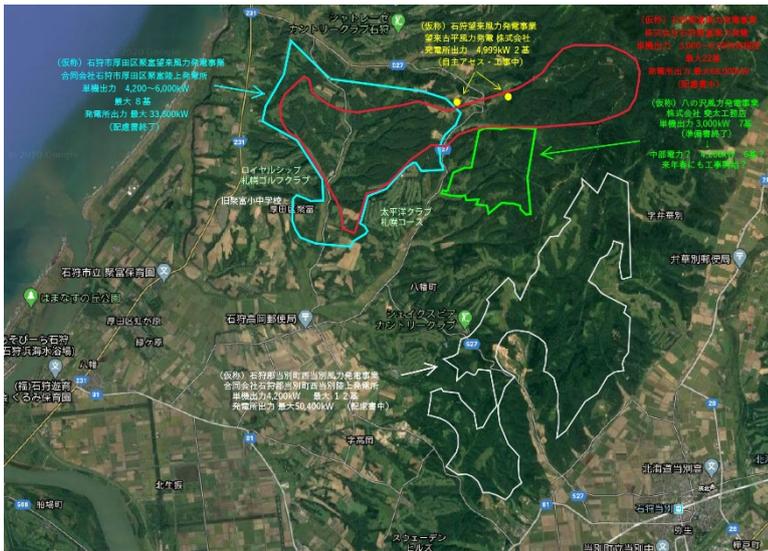


周辺住民も困惑・・・一体なぜ？

厚田区周辺に陸上風力計画が過剰集中

全5事業、最大51基



現在、厚田区周辺の民有林に風力発電計画が集中し、信じられない数の風力発電が建設されることをご存じでしょうか。厚田区は自然豊かで古くからの農家や福祉施設などがあり、この計画地周辺にもたくさんの方が暮らし、この環境を求め新しい移住者います。

最近の大型風力発電は出力も増し、150m を超える高さの規模になってきました。(札幌テレビ塔の高さは147.2mです) このような大型の機械が厚田丘陵に建つことにより、慣れ親しんだ自然豊かな

環境や景観は一変し、風力発電から発生する低周波騒音による住民への影響が懸念されます。全国的にも風車から数キロ圏内に風車騒音で眠れない人が出ています。会ではこれらの計画の進捗状況発信し、学習会の実施を予定しています。

1. (仮称) 石狩市厚田区聚富望来風力発電事業 4,200~6,000kW 最大8基
合同会社 石狩市厚田区聚富陸上発電所
2. (仮称) 八の沢風力発電事業 3,000kW 7基
株式会社 斐太工務店
3. (仮称) 石狩望来風力発電事業 発電所出力 4,999kW (2基)
望来古平風力発電 株式会社
4. (仮称) 石狩郡当別町西当別風力発電事業 4,200kW 最大12基
合同会社 石狩郡当別町西当別陸上発電所
5. (仮称) 石狩聚富風力発電事業 3,000~6,000kW 程度 最大22基
株式会社 石狩聚富風力発電

石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

ホームページ <http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

問い合わせメール ishikari@winpow-comaga.kilo.jp

Facebook ページ <https://www.facebook.com/windturbine.lbcc>

本当に大丈夫?ちょっと待って! その風車建設!



ちょっと待ってポイント① 「そのサイン、本当にして大丈夫ですか?」

土地や、電柱設置など事業者と契約を交わす際の、契約内容は大丈夫でしょうか。
20年の長い稼働期間中に、もし事業者が倒産したら・・・。
風力発電に故障はつきものです。売電できなくなったとき、事業譲渡されたときはどうする・・・。
リスク発生時に「事業者が負債を負わなくていいような契約」には注意が必要です。

ちょっと待ってポイント② 「農業や漁業に影響しませんか?」

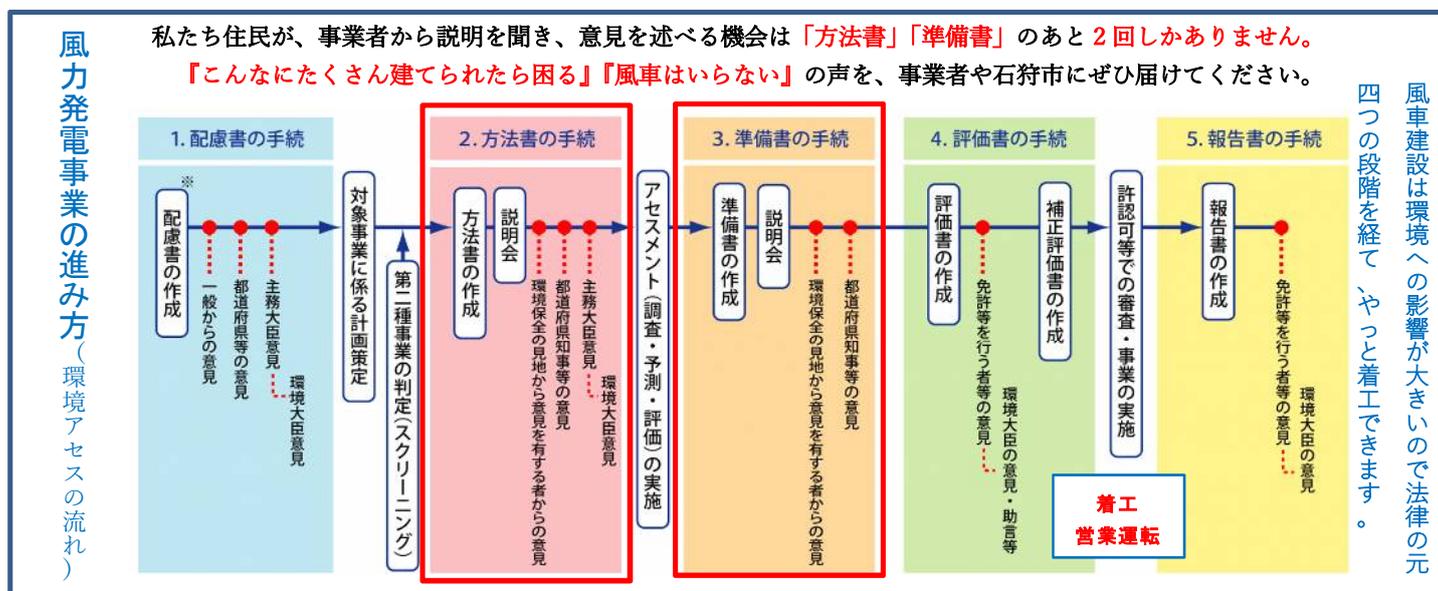
この狭いエリアに50基以上の風力発電を建てるということは、大きく林地開発が行われます。
発電機設置と、搬入道などの工事の際に発生する大量の土は、どこに捨てるのでしょうか。
水源や河川、ため池に土砂が流出し、農業用水や漁業に影響は出ないでしょうか。

ちょっと待ってポイント③ 「豪雨・台風災害に耐えられますか?」

台風で風車が倒壊したり、発火したとき、山の尾根に建てられたものには対処できません。
また、本州の風車建設地では、豪雨災害時、皆伐した山林や作業道から土砂崩れが発生していること、
雨量が大量に河川に流れ込み、氾濫のリスクが上がることなどが指摘されています。

ちょっと待ってポイント④ 「え!!地域にメリット・・・ないの!?!」

住民の暮らしにメリットはあるでしょうか。通常時は、大都市に送電され、停電時は北電からの給電も止まるので、風力発電は動きません。大きく景観は変わり、野鳥など希少生物の棲みかは奪われ、50基からの低周波音も届いてきます。自然と農業に長く親しんできた暮らしは、このような発電事業と引き換えにできるでしょうか。



住民の皆さまへ

着々と進む事業者の計画。標高100mもない厚田段丘や望来段丘に、高さ160mもの風力発電が50基立ち並ぶ。これは、全国的に見ても異常な状況です。本当にこのまま安心して暮らし続けられるのか。風力発電への賛否は様々と思いますが、地域合意なく計画を進めることは止めるべきと考えます。現在、事業者優位の計画の進め方に対し、全国各地で様々な住民運動が起こっております。私たちも、計画に反対する署名を募っています。ぜひ、この機会に「未来に残したい厚田の風景」を一緒に考えてみませんか!!

「石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会」安田 (090-6211-1602) 厚田区聚富 福岡 (0133-60-3730)